

### 第3 工業用水道事業について

#### 1 事業の概況

平成30年度においては、36事業所等に供給し、基本使用水量は、1日当たり2万7,617立方メートルで、施設能力1日3万7,150立方メートルに対し、74.3%となっています。また、基本使用水量の下期が502万9,934立方メートル、年間が1,008万305立方メートルで、前年度に比べてそれぞれ6.2%と6.1%の減少となっています。

一方、料金収入は下期が1億3,051万円、年間が2億6,146万円で、前年度に比べてそれぞれ12.3%と12.5%の増収となっています。

なお、基本使用水量及び料金収入は第9表のとおりです。

第9表 平成30年度基本使用水量及び料金収入(税込み)実績表

項 目	下 期	年 間	年間対前年比 (%)
基本使用水量 (m <sup>3</sup> )	5,029,934	10,080,305	93.9
特定使用水量 (m <sup>3</sup> )	3,650	3,650	94.8
超過使用水量 (m <sup>3</sup> )	404	1,289	14.2
給水量 (m <sup>3</sup> )	2,713,224	5,616,025	103.4
給水量 基本使用水量+特定使用水量 (%)	53.9	55.7	—
基本使用水量 施設の1日最大給水量 (%)	74.4	74.3	—
料金収入 (千円)	130,511	261,463	112.5

(注) 施設の1日最大給水量は37,150 m<sup>3</sup>

## 2 令和元年度予算の概要

令和元年度予算は、経費の重点的かつ効率的な執行を図ることを主眼に編成しています。

収益的収支（税込み）においては、収入は料金収入 2 億 6,420 万円、長期前受金戻入 5,051 万円、その他収益 476 万円、合わせて 3 億 1,947 万円となっています。支出は給与費 5,606 万円、減価償却費 1 億 3,245 万円、その他経費 1 億 1,021 万円で、合わせて 2 億 9,872 万円となっています。

資本的収支（税込み）においては、収入は企業債 1 億 3,600 万円、支出は建設改良費 1 億 8,043 万円、企業債償還金 2,544 万円、他会計貸付金 1 億円、予備費 50 万円、合わせて 3 億 637 万円となっています。

令和元年度予算の実施計画は第 10 表のとおりであり、また収益的収支構成比較は第 3 図のとおりです。

第 10 表

## 令和元年度工業用水道事業会計予算実施計画（税込み）

1 収益の収入及び支出  
収 入

（単位 千円）

款	項	目	予 定 額	備 考
1 工業用水道事業 収益	1 営業収益		319,471	
			264,279	
	2 営業外収益	1 給水収益	264,200	給水料金
		2 その他営業収益	79	公舎使用料等
		1 受取利息	78	預金利息等
		2 消費税及び地方 消費税還付金	4,588	
		3 長期前受金戻入	50,513	固定資産減価償却費のうち補助 金等相当額
		4 雑収益	13	

## 支 出

（単位 千円）

款	項	目	予 定 額	備 考
1 工業用水道事業 費用	1 営業費用		298,715	
			297,430	
		1 原水、浄水及び 送水費	135,427	(事業所職員給与費 31,029 事業所営業費 104,398)
		2 総係費	29,557	(本庁職員給与費 25,035 本庁営業費 4,522)
	2 営業外費用	3 減価償却費	132,445	固定資産減価償却費
		4 資産減耗費	1	
		1 支払利息	783	
		2 雑支出	1	
		3 特別損失	1	
	4 予備費	1 過年度損益修正 損	1	
		1 予備費	500	
			500	

2 資本的収入及び支出  
収 入

(単位 千円)

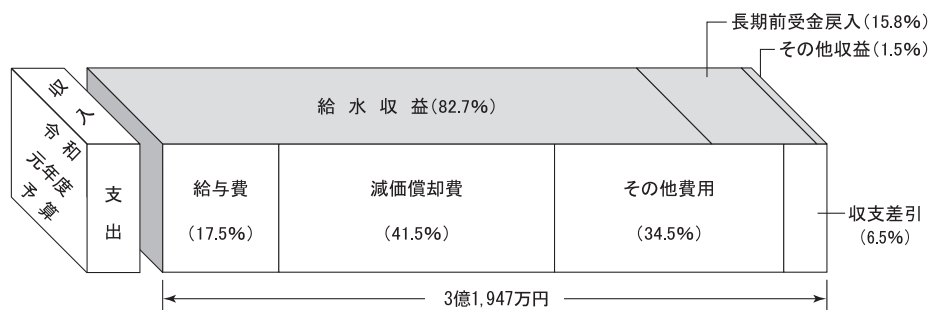
款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			136,001	
	1 企業債		136,000	
	2 固定資産売却代金	1 企業債	136,000	
		1 固定資産売却代金	1	
			1	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			306,365	
	1 建設改良費		180,431	
		1 工業用水道施設改良事業費	180,431	〔工事費 設備費 委託費〕
		諸施設費	165,153	
		総係費	15,278	
	2 企業債償還金		25,434	
		1 企業債償還金	25,434	
	3 他会計貸付金		100,000	
		1 他会計貸付金	100,000	一般会計への貸付金
	4 予備費		500	
		1 予備費	500	

第 3 図 令和元年度工業用水道事業予算の収益的収支構成比較 (税込み)



### 3 平成30年度予算の経理状況

平成30年度予算の経理状況は、収益的収支（税込み）では、収入3億1,554万円、支出2億9,923万円で、予算に対する収入率は100.0%。支出率は96.3%となっています。

また、資本的支出（税込み）では、収入7,600万円、支出1億1,787万円で、予算に対する収入率は100.0%、支出率は98.8%となっています。

平成30年度予算の経理状況は、第11表のとおりです。

第11表 平成30年度工業用水道事業会計予算の経理状況（税込み）

1 収益的収支  
収入

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
工業用水道事業収益	307,527	7,989	315,516	315,537	100.0%	21
営業収益	257,002	4,525	261,527	261,542	100.0	15
営業外収益	50,525	3,464	53,989	53,995	100.0	6

支 出

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
工業用水道事業費用	295,244	15,422	310,666	299,231	96.3%	△11,435
営業費用	291,303	13,778	305,081	294,614	96.6	△10,467
営業外費用	3,440	1,644	5,084	4,617	90.8	△467
特別損失	1	0	1	0	0.0	△1
予備費	500	0	500	0	0.0	△500

2 資本的収支  
収 入

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
資本的収入	94,001	△18,000	76,001	76,000	100.0%	△1
企業債	94,000	△18,000	76,000	76,000	100.0	0
固定資産売却代金	1	0	1	0	0.0	△1

支 出

(単位 千円)

区 分	予 算 額			執行額 (B)	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	比較増減額 (B)-(A)
	当 初	補 正	計 (A)			
資本的支出	220,713	△101,468	119,245	117,866	98.8%	△1,379
建設改良費	102,200	△296	101,904	101,025	99.1	△879
企業債償還金	18,013	△1,172	16,841	16,841	100.0	0
他会計貸付金	100,000	△100,000	0	0	—	0
予備費	500	0	500	0	0.0	△500

#### 4 資産及び企業債の現在高

平成30年度末における資産総額は34億3,965万円で、その78.1%が固定資産となっています。  
また、企業債の現在高は2億401万円となっており、その明細は第12表のとおりです。

第12表

工業用水道事業企業債明細書

(単位 千円)

借 入 先	発行総額	償 還 高		未償還残高
		当期償還高	累 計	
政 府 資 金 (財務省財政融資資金)	20,000	1,027	14,356	5,644
地方公共団体金融機構	117,000	7,814	37,636	79,364
市 中 銀 行	127,000	8,000	8,000	119,000
計	264,000	16,841	59,992	204,008